

# 不動地区 地震・津波避難支援マップ

2021年2月



## 南海トラフ巨大地震想定とマップの使い方

不動地区の揺れの強さは**最大震度7**で、地盤の沈下・液状化が発生し、建物やブロック塀等の損傷・倒壊、道路の通行障害が発生します。**津波第1波は地震発生41分後**に東沖洲マリニピアに到達し、**最大高さ(は5m程度(地震発生53分後))**です。津波は吉野川を遡上し、飯尾川沿いの低地(地盤標高が約3m未満の場所)は1~2m浸水する可能性があります。津波浸水域と浸水深の詳細は「**徳島市地震・津波防災マップ**」をご覧ください。

「**不動地区 地震・津波避難支援マップ**」は避難場所や避難路の詳細な情報や、大雨時に冠水しやすい道路を掲載(裏面)したものです。揺れが収まるまでの時間や避難準備を考えると、**避難場所までの移動に使える時間は約30分**です。また、災害時の歩行速度は普段の半分程度です。夜間や雨天に災害が発生しても慌てず避難できるように、マップを使って**複数の避難経路・避難場所を考えたり、実際に歩いて安全性や避難に必要な時間を確かめておきましょう。**

## 徳島市 地震・津波 防災マップ



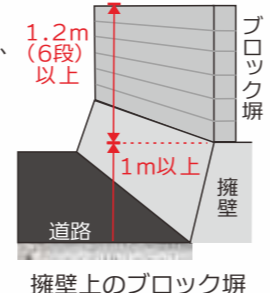
南海トラフ巨大地震で想定される震度分布、津波浸水域、浸水深、家庭での防災対策、避難時の持ち出し品、避難生活等が詳しく書かれた冊子です。徳島市役所7階、危機管理局防災対策課(088-621-5527)で入手できます。2014年3月発行。

## 記号の説明

- 津波避難ビル ( )内の数字は収容人数
- 指定避難所
- 建物入口
- 敷地入口
- かぎ保管庫
- 主要道路(県道)
- 危険箇所
- 防災倉庫・備蓄倉庫
- 2.3 地盤標高(海拔(m))
- 注意を要する道路区間

## 不動地区のブロック塀事情

不動地区は大雨・洪水による浸水被害を受けやすい土地柄です。そのため、盛土して周囲の道路より地盤を高めた家屋敷が多数あります。擁壁上のブロック塀はとても揺れやすくなっています。特に右図のような高さ1m以上の擁壁の上に作られた、高さ1.2m以上のブロック塀は、倒壊の危険性が高いとされています。地震災害時には、擁壁上のブロック塀に気を付けて避難することが重要です。



## 津波避難ビル 不動小学校 かぎ保管庫と入口



## 津波避難ビル 不動中学校 かぎ保管庫と入口

